



作者：工藤和久さん（青森県弘前市）

村内五つの小学校統合に伴い、平成二十二年四月に開校する関川小学校の校歌ができあがりしました。
校歌の歌詞には、県内外から十八作品が寄せられ、学校創立委員会（高橋一裕委員長）で一次選考を行い四つの作品を選定。最終的には、平田美佳さん（小見）の作品に平田大六村長が決定しました。

また作曲は、鮎谷集落出身で音楽に造詣が深く、元関小学校校長を務めた、前田彪さん（現・村上市荒川地区公民館長）に依頼しました。
新しい関川小学校の校歌は、閉校する五つの小学校の在校生が練習を行い、四月五日の開校式でその歌声によって披露される予定です。

新たな伝統へ校歌が完成

平成22年4月開校 関川小学校



関川小学校の新校舎が完成

12月6日に竣工式

12月13日(日)に一般公開
9:30~15:00



各教室や廊下の腰板・柱などに、村有林のヒノキ材がふんだんに使用されていて、木のぬくもりが感じられます。また、廊下が広く、教室との仕切り壁を自由に可動できる仕組みになっているため、明るく開放的な空間となっています。

なお、詳しい施設概要は次号の広報せきかわで紹介いたします。

平成二十二年四月開校に向けて工事が進められてきた、関川小学校の新校舎がこのほど完成しました。
新校舎は鉄筋コンクリート造三階建て、体育館が鉄筋コンクリート造平屋建てで、屋根は瓦葺きとなっています。
村では、十二月六日に竣工式を行い、十三日に一般公開を予定しています。また、十六日に村内小学校児童の見学会を行い、備品を配置。その後、関小学校児童の引越しを行うって四月の開校に備えることにしています。

関川小学校 校歌

作詞 平田 美佳
作曲 前田 彪

♩ = 104 - 112

はずんで *mf* *v*

わ い か い あ ゆ お よ く あ ら か わ の
い み かい であ の や ま ぐ に ら げ る ま さ と さ と の れ で
か わ た ら な が れ ろ う け つ い が で り ー と お ひ
ゆ き た ら く な こ が れ ろ う わ す こ あ や ー ー お ひ
も お ろ に き い ま な つ な き ば ほ ぼ さ (x) う つ に (x)
て む ゆ を ね め く に の ん だ せ (v) て き て ー ー
え み が ん す お な か が ゆ ば き き く あ ひ す か と さ と た く ち ー ー
カ づ よ く *f*

せ せ せ き き き か か か わ わ ー ー し し し う づ う が っ が っ こ う こ う ー ー

一 若あゆ泳ぐ荒川の
かわらぬ流れうけついで
ともに学ぼう手をくんで
笑顔かがやき明日に咲く

関川小学校

二 飯豊の山にはげまされ
ゆたかな心わきあがり
大きな希望胸にだき
みんなの勇氣ひかるとき

関川小学校

三 緑ひろがるふるさとで
清く明るくすこやかに
ひろいつばさに夢のせて
明日へはばたくことりたち

関川小学校

「アリガトウ土沢小」

閉校の思いをアートに込めて

土沢小学校の全校児童四十
二人が、来年三月に閉校とな
る学び舎への思いを込めて、
空き缶を使って壁画アートを
制作しました。

空き缶千八百七十五本を使
った壁画は、縦四段、横五段
と巨大なもので、デザインし
たのは五・六年生の児童。木々
やヒヨウタン池など庭園グラ
ウンドが描かれたほか、学び
舎への感謝の思いを込めた「ア
リガトウ土沢小」の文字が大



大きく入れられました。

長野涼夏さん（6年・土
沢）は「針金に缶を通すとき、
順序を間違うと取り外さなけ
ればならないので大変でした。
苦労しただけに、完成がとて
も嬉しいですよ」と、出来栄え
に満足していました。

空き缶アートは、十一月八
日に開催された、土沢小学校
最後の文化祭「きりであつり」
で、保護者や地域の皆さんに
披露されました。